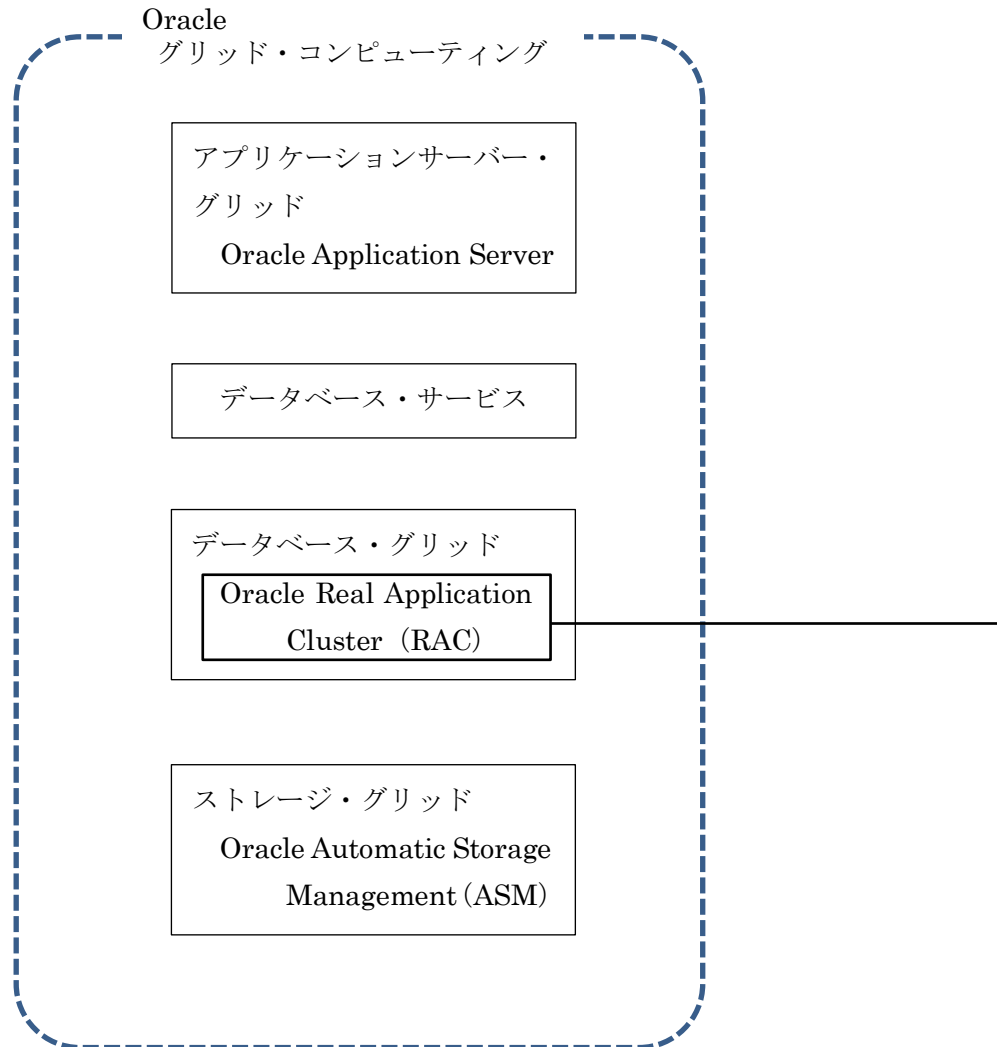


Grid Computing の目的と構成

Oracle グリッド・コンピューティングとは、**複数のサーバーの複数の Oracle インスタンス (別 SID の Oracle)** を仮想的な 1 つのまとまったシステムとして結合させる技術です。

なお、1 台の物理サーバーで、複数の Oracle インスタンス (別 SID の Oracle) を稼働させることは、通常動作範囲内でも可能である



RAC (Oracle Real Application Cluster)

複数のサーバーの複数の Oracle インスタンス (別 SID の Oracle) を結合して、1 台の仮想マシンとして運用する技術

ASM (Oracle Automatic Storage Management)

1 つの仮想的なディスクを、複数の物理ディスクから構成して、Oracle 専用のストレージとして作成する技術

このストレージを表領域などの記録域に使用する

なお、仮想ディスク作成時に、ストライピング (ディスク連結)、ミラーリング (データ複製)、動的リバランシング (負荷均一化のためのファイル再配置) などの技術が活用される

Oracle Enterprise Manager Grid Control (EMGC)

構成されたグリッド環境全体の仮想 Oracle を一元管理するための、Web コンソール画面のことをいう

1つのWeb コンソール画面中には、**複数**のサーバーと**複数**の OracleSID インスタンスが入っていて、操作を切換えて行う

1台1台の Oracle サーバーの設定や、複数サーバーにまたがった Oracle インスタンス (SID) への設定を指示する

【 比較 】

Enterprise Manager Database Console (EMDC)

=Oracle Enterprise Manager (OEM)

~~1台のサーバ~~ 1個の OracleSID だけで構成される Oracle を管理するための Web コンソール画面のことをいう

単体の OracleSID インスタンスに対して、管理や設定を行う